



令和4年12月23日

防災委員会だより



2022. 11. 9 実施

第1グラウンド 消火訓練の様子

～防災意識を高く持とう～

地震で起こる危険性

- ・ 家屋等の倒壊
- ・ 土砂崩れ等の土砂災害
- ・ 津波の発生
- ・ 住宅地の液状化
- ・ 通話の集中や通信の設備の被災などにより、電話やインターネットが繋がりにくくなる。
- ・ 歩行者や自転車が集中し、大渋滞で避難が困難になる。

みんなが考えた危険性

- ・ 火事が起きる
- ・ 窓ガラスが割れる
- ・ 物が倒れてくる
- ・ 避難するとき階段が混み合い、避難が遅れる可能性がある。

地震から身を守るために必要なこと

- ・ お・か・し・もを守る
- ・ 正しい情報を聞く
- ・ ダンゴ虫のポーズをとる
- ・ 避難するときは走らない
- ・ 避難時は、みんなで協力して助け合う
- ・ 落ち着いて行動する
- ・ 指示をしっかりと聞く
- ・ ガラスが割れたり、ものが飛び出しそうなところから離れる。

みんなが考えた身を守るために必要なこと

- ・ 机の下にすぐもぐる
- ・ 窓ガラスから離れる
- ・ 倒れてくるものから身を守る
- ・ 自助、共助を大切にする
- ・ 冷静に行動する





☆★トピックス 『秋・冬の防災 🦺 』 について★★

火災の危険性と防ぐための

POINT !



火災が起きないとされる安全な酸素濃度は、通常 21%程度
とされています。酸素濃度が通常以上になる環境であれば、火災危険は増大します。
火災の危険性には、出火の危険性、燃焼拡大の危険性などがあります。

- ・ゴミは指定された当日の朝に出す
- ・火が付いている物から離れるときは必ず消す
- ・風の強い日や空気が乾燥しているときは、火を付けない
- ・ストーブのまわりに衣類を置かない。

『防災訓練を通して 生徒の感想』

- ・秋は空気が乾燥しやすく、火事は他人事ではないので、今日の避難訓練で意識することができてよかった。自分の不注意で火事を起こすことがないように日頃から気をつけたい。
- ・机の下に隠れるのが大変だからもっと方法はないのかなと思った。頭は守れても、他を守れない。何回避難訓練をしても現実で起きたら冷静に対応できないと思う。
- ・慣れてしまうと避難時に話しをしてしまうことがあるので意識を高く持って行動しなければいけないと思った。また、災害や場所によって避難経路が変わってくると思うので常に焦らず落ち着いて行動することを心がけたいと思った。
- ・秋は空気が乾燥してきて火災が起こりやすいので日頃から気を付け、万一の時に備えて生活したい。
- ・秋は火災が多いので火気の取り扱いに気を付けたいと思いました。地震が起き火災が起きることもあるので今回の避難訓練を忘れないようにしたいと思う。
- ・先生方の指示に従って速やかに避難訓練を行うことができた。夏に行ったときよりも素早く避難することができたと思う。火災が起こった際には今回の避難のようにできるようにしたい。
- ・これから火災が多くなってくる時期になるので、しっかりと訓練することができてよかった。様々な避難経路を確認しておきたい。
- ・もっと危機感をもって取り組みたい。災害時に適切な判断と行動をできるようにしたい。
- ・今回初めて消火器を使い、消火訓練をした。とても貴重な経験ができてよかった。また、避難するとき走らずに早歩きで避難ができたならより良くなると思った。
- ・火災が発生したら、落ち着いて避難し、なるべくしゃがむように避難することを意識したいと思った。
- ・実際に火事が起きたら、訓練したことを思い出し備えられるようにしたい。

編集
後記

今回は2年生6名の防災委員で編集しました。「秋の避難訓練」についての特集でした。

今後の防災・減災に役立てていただければ幸いです。

令和4年度登米高校防災委員会 防災委員2学年一同

